



普及センター

だより

特技を生かした直売で

頑張る女性農業者

1. 直売活動

近年、女性農業者達の活躍はめざましく、いきいきと活動する姿は、輝いています。

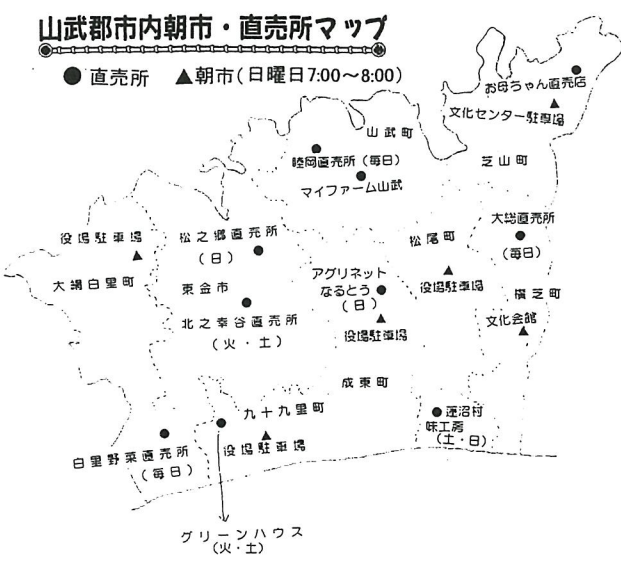
自分達の生産した野菜について消費者の声を聞きたいと、直接販売する直売所や朝市に参加する女性が増えています。山武郡市内の直売所は女性が運営管理しているところが8ヶ所で、開設日も毎日、週2回、毎週日曜日といろいろです。

また、朝市は6町村で開催され、ほとんどが毎週日曜日の朝7時〜8時ごろに行われて賑わっています。

新鮮・安心・おいしい旬の野菜を自信を持って消費者に提供するために、栽培の勉強会に行ったり、低農薬での栽培に努力しています。「私が作りました」と氏名、電話番号を書いたメッセージを袋に入れているところもあります。「おいしかったよ」

2. 加工活動

長年の生活改善グループ活動を生かして農産加工品づくりに



と声をかけられる反面、苦情を言えるという事で「作り手がわかると安心して買える」と消費者から好評でした。

※問い合わせは、山武農業改良普及センター(☎0475-15410227)へ。

取り組み、直売所・朝市等で加工品を販売しています。味噌、漬物、赤飯、餅、巻き寿司、ケーキや野菜を使ったお菓子等多彩です。各々、営業許可を取り、衛生面に充分配慮して販売しています。

生産者であり、消費者である女性農業者ならではの感性で、直売・加工活動に取り組み輪がさらに広がることを期待しています。

文芸

俳句

両の手に溢る思ひや福の豆
浅野 茂子

手につたふ根張りの強き冬の草
伊藤 敬子

鼻赤くよき声したる年男
岡田 雅美

日輪が冬の地平を燃やしけり
向後 寛

竹林に日矢差し来る霜の朝
鈴木 繁子

宿の傘時雨を振って返しけり
土屋 栗水

春立つや懸軸替へる山水画
藤代 ゆう

春の燈に嫁ぐ娘の眼の潤みけり
渡部 和秋

不足なき日々の暮らしや福寿草
選者 鈴木 草庵

短歌

金箔を貼らむと構ふ詩絵師のピンセットの先かすかに震ふ
佐瀬 初音

杉の穂の弾けむばかりに膨らむを花粉情報は映してゐたり
秋葉 悦子

飼犬の訴へるやうな目に負けて寒風の道を散歩に出ずる
八角 三枝

冬の夜の剣の稽古は冷たさを痛しと伝ふわが足裏に
西山満里子

保温マット外して今朝みる君子蘭苔ほのかに朱をおびきつ
鈴木 やす

年毎に伸びゆく梅は軒を越え空に真白き花を咲かせり
押尾 輝子

生徒らは先生囲み楽しげに語りつつゆく学校園に
石井 ユク

病む友のいか程力になり得しや黙し帰りに水雨の中を
吉岡 信子

降りやまぬままに暮れゆき点す灯に光となれり軒の雪は
萩原 信一

総の地を雲は柔らに包みぬて草木育む春雨降らず
永藤 滋

厳寒をアロイ健気に花咲かせ病む吾が部屋に生氣くれたり
土屋 栗水

愛唱歌うたふひとりに皆も和し世代代かよふ友と旅ゆく
選者 斎藤つね子

